

# 神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年8月24日 作成 神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第33週 2016年 8月 15日 ～ 2016年 8月 21日

インフルエンザ 設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ																														

小児科 報告定点数 31 ケ所  
設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症			1							1		1												
咽頭結膜熱	3	1						5		9			3	1			1				1	3		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2					5	2	1	5	15			1	1	2		4		1	1		2		3
感染性胃腸炎	3	3	4	7	20	5	8	31	14	95	3	13	21	6	4	6	5	3	5	5	3	14		7
水痘			1		4			1	2	8			2			2	2	1		1				
手足口病	3							1	1	5		1	1	2							1			
伝染性紅斑					1					1								1						
突発性発疹				2	2	1	2	1	4	12		3	8	1										
百日咳																								
ヘルパンギーナ	2		1	3		1	1	8	2	18		1	4	4	3	2	2			1		1		
流行性耳下腺炎	7	1	4	2	17	6	10	8	4	59				1	6	9	15	14	6	3	1	3		1

7月に入り全国の麻しん患者の届出数が増加しています。渡航歴のある患者や、その接触者からの患者の発生が散見されています。感染経路は空気感染、飛沫感染、接触感染で、その感染力はきわめて強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。手洗い、マスクのみで予防することはできません。ワクチンが有効な予防法です。定期接種は対象年齢になったら確実に2回受けましょう。（対象期間中は無料で接種することができます。詳細は神戸市ホームページでご確認ください）3症状（①顔面から全身へ広がる融合性発疹、②発熱、③咳・鼻汁・結膜充血などのカタル症状）などから麻しんを疑う患者を診察した医師は直ちに神戸市保健所までご連絡をお願いします。（TEL:078-322-6789）

眼科 報告定点数 10 ケ所  
設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎	1								1	2												1					1		

（定点機関から報告されたその他の感染症情報）

東灘区○ノロウイルス感染症1例：年齢・性別不詳（6101）  
灘 区○マイコプラズマ感染症1例：5～9歳女（6202）  
中央区○アデノウイルス感染症2例：0～4歳男、30代男（6301）  
北 区○アデノウイルス感染症2例：0～4歳男（6505）  
北 区○カンピロバクター腸炎1例：10代男（6505）  
北 区○病原性大腸菌感染症2例：10代男（6505）  
垂水区○ノロウイルス感染症1例：0～4歳女（6802）  
垂水区○細菌性腸炎3例：年齢・性別不詳（6804）  
西 区○マイコプラズマ感染症3例：5～9歳男、10代女（6902）

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は15人（うち潜在性結核感染症4人）です。

【市内の感染症の状況】

幼稚園や小学校等で流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の流行が続いています。  
患者報告数は例年よりもかなり多く、注意報レベル（定点あたり患者数3人）に近づいています。

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

（トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向）

# 神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年8月24日 作成

## 全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	10代	2016年8月11日	2016年8月15日	2016年8月22日	O157 (VT1VT2)	便培養法	腹痛 水様性下痢	不明	

## 全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2016年8月17日	2016年8月17日	2016年8月18日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出 (イムノクロマト法)	発熱、肺炎	その他	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 アメーバ赤痢)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2016年5月初旬	2016年5月31日	2016年8月18日	腸管アメーバ症	鏡検による病原体の検出 (大腸粘膜組織)	下痢、粘血便 しぶり腹 大腸粘膜異常所見	不明	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	80代	2016年8月17日	2016年8月17日	2016年8月21日	血清型未実施	分離・同定による 病原体の検出 (血液)	発熱、意識障害 菌血症	その他 (口腔内衛生環境 不良)	ワクチン接種歴なし

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2016年8月頃	2016年8月19日	2016年8月19日	早期顕症梅毒 I 期	RPRカードテスト TPHA法	初期硬結、鼠径 部リンパ節腫脹 (無痛性)	異性間性的接触	

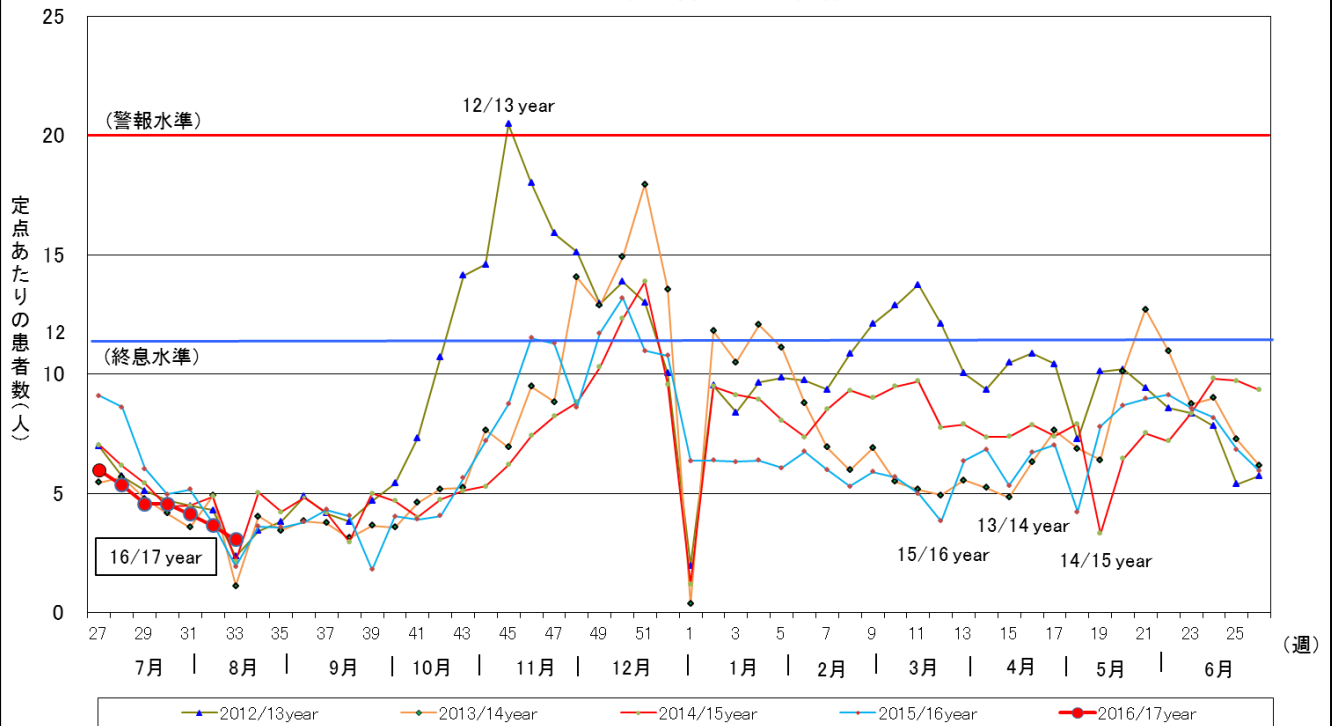
## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	0～4歳	2016年8月21日	2016年8月22日	2016年8月23日	病原体不明	臨床症状	発熱、痙攣 意識障害 肝酵素の上昇	不明	

## 神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	届出医療機関所在区	状況
アデノウイルス2型	咽頭ぬぐい液	須磨	4歳女児(7/25採取、発熱あり、咽頭結膜熱)
	咽頭ぬぐい液	東灘	1歳6ヶ月女児(8/8採取、40.0℃、咽頭結膜熱、気管支炎)
	咽頭ぬぐい液	東灘	1歳6ヶ月男児(8/8採取、40.0℃、咽頭結膜熱、肺炎)、上の事例の兄弟
アデノウイルス4型	咽頭ぬぐい液	垂水	9歳0ヶ月男児(7/7採取、40.4℃、咽頭結膜熱)

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



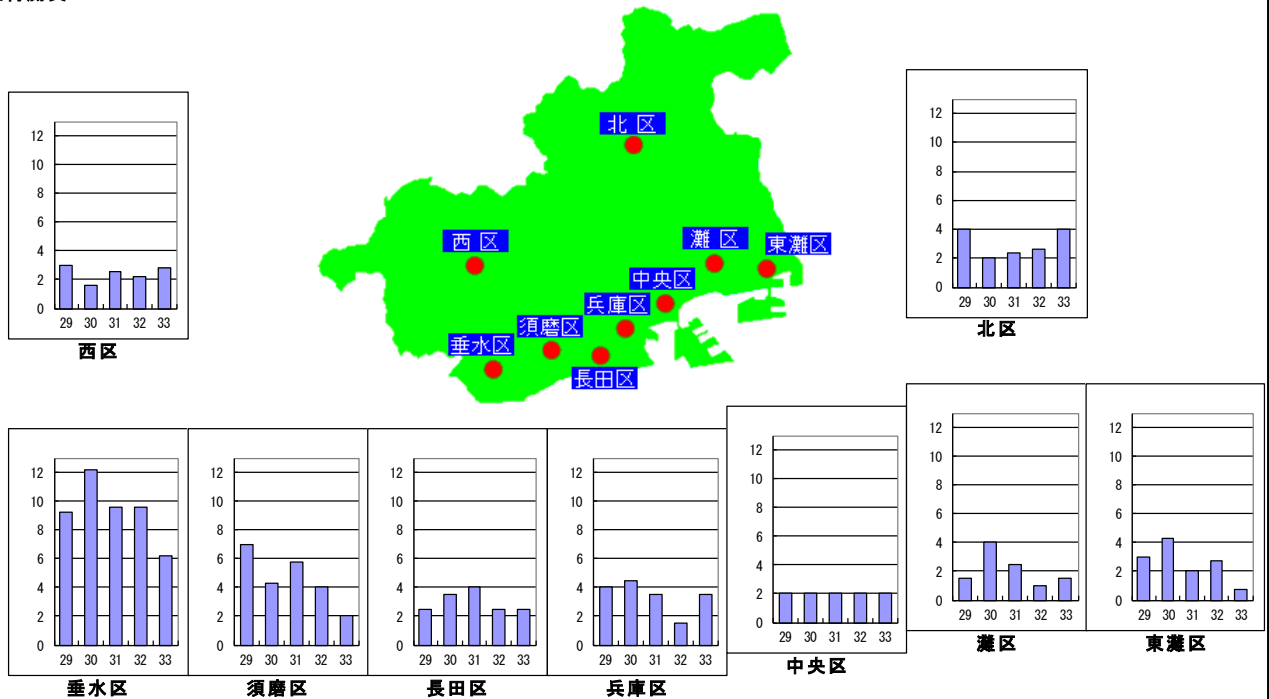
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 29 週 平成28年7月18日

～

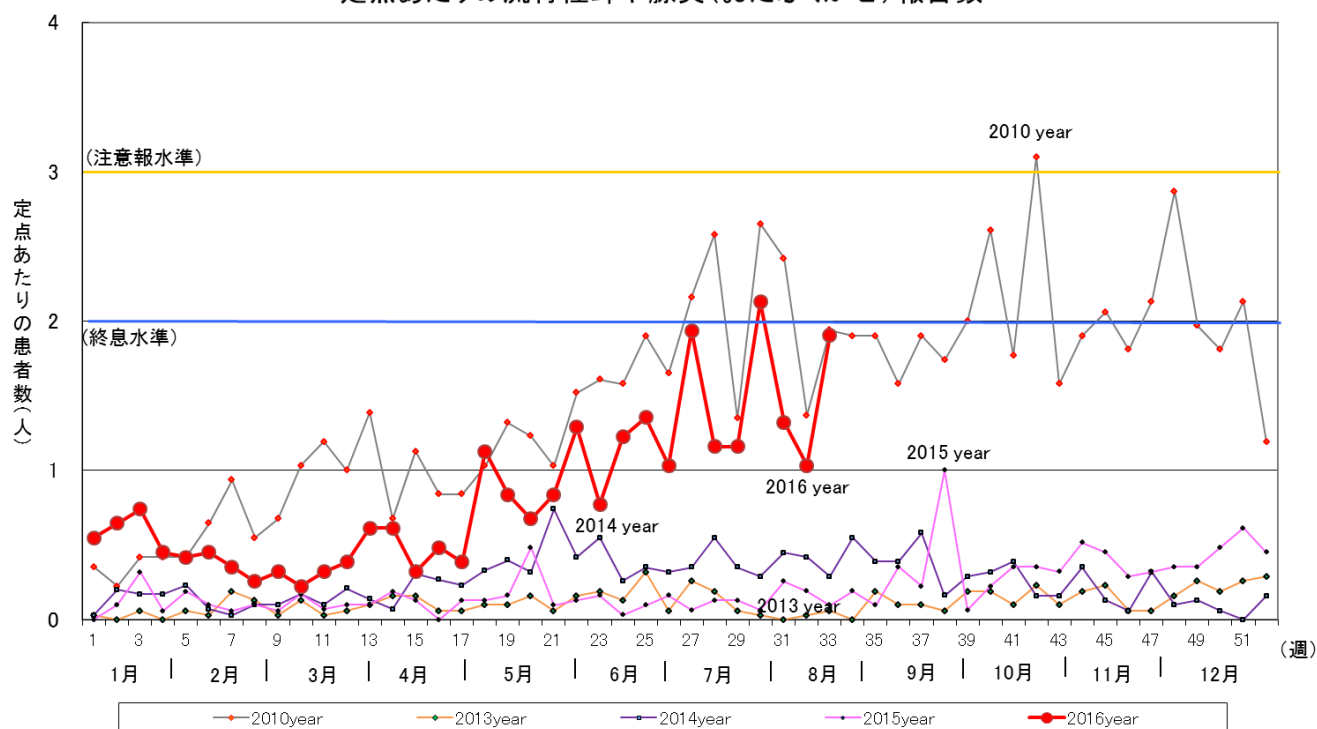
第 33 週 平成28年8月21日

感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

# 定点あたりの流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)報告数



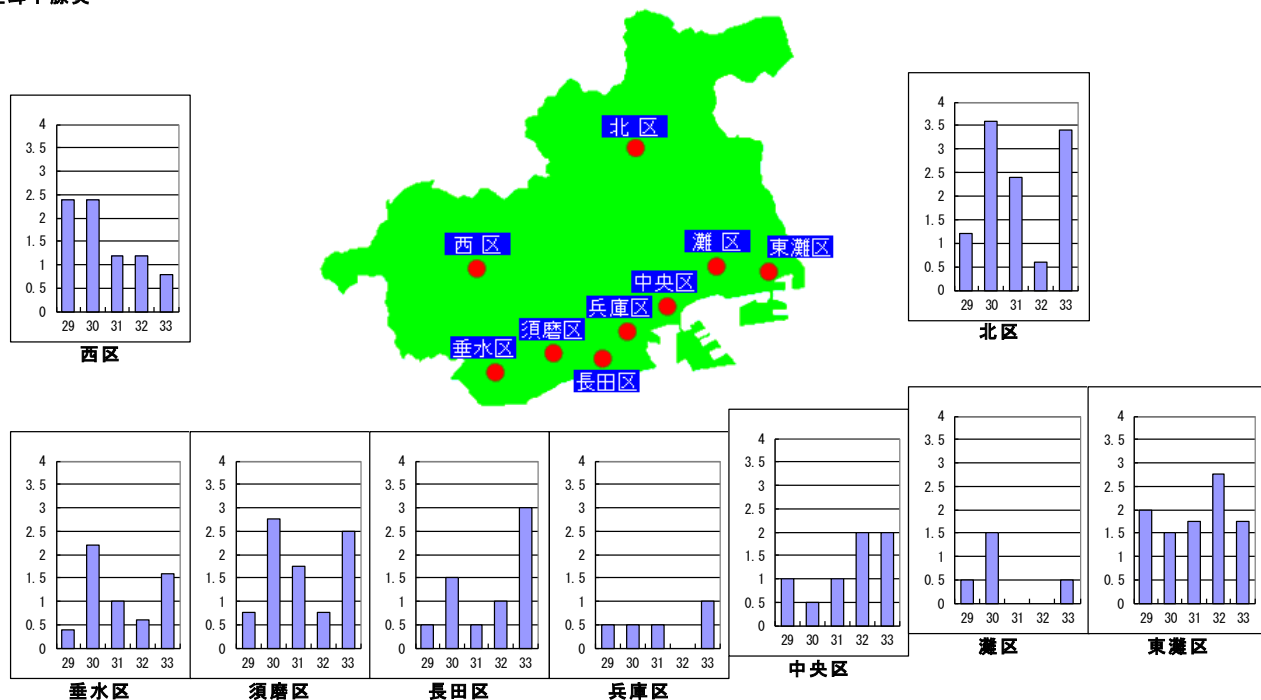
## 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 29 週 平成28年7月18日

～

第 33 週 平成28年8月21日

### 流行性耳下腺炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。